

情報公開文書

研究の名称	免疫チェックポイント阻害剤投与症例の臨床経過を解析する観察研究
整理番号	R2020067
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学内科学（第一）准教授 猪又峰彦
研究の概要	<p>【研究対象者】</p> <p>2016年1月1日より研究期間内に肺癌または胸膜中皮腫と診断され免疫チェックポイント阻害剤による治療を受けた方。 2010年以降研究期間内に肺癌または胸膜中皮腫と診断され免疫チェックポイント阻害剤以外の治療を受けた方。</p> <p>【研究の目的・意義】</p> <p>免疫チェックポイント阻害剤は優れた治療効果を呈しますが治療効果の予測が困難であること、自己免疫に関連した免疫チェックポイント阻害剤特有の副作用があることなどが問題となっています。本研究では免疫チェックポイント阻害剤の投与を受けた方の臨床データをカルテから抽出し臨床経過を解析することで適切な診療を目指すことを目的としています。免疫チェックポイント阻害剤が投与されなかった方のデータは比較対象として使用いたしません。</p> <p>【研究の方法】</p> <p>当院で診療を受けた上記の患者さんのカルテ情報を研究に用います。個人情報情報が漏えいしないよう、氏名やカルテ番号などは消去し解析に用います。</p> <p>【研究期間】</p> <p>2020年7月1日から2026年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】</p> <p>学会や医学雑誌での発表を予定します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	本研究では、年齢、性別、全身状態、体重と身長、腫瘍に関連した検査結果（遺伝子変異、タンパク発現）治療歴、治療開始日と終了日、増悪日、最終受診日、画像所見、腫瘍縮小効果、血液検査データです。これらは診療録から抽出されるデータであり、他の医療機関に提供されることはありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	診療情報は富山大学附属病院で管理されます。 責任者：富山大学内科学（第一）准教授 猪又峰彦
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院長 林 篤志
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合のお申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7287 担当者所属・氏名 富山大学内科学（第一）准教授 猪又峰彦